

研究機関名：誠愛リハビリテーション病院

研究課題名 移乗動作の運動分析～手すりを使用した 90° 回転動作の運動力学的検証～
研究期間 西暦 2013 年 10 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 10 月
対象材料 FIM の点数をもとに移乗動作が修正自立者 10 名と監視、最小介助者 10 名。文書による説明を行い、了承が得られた当院入院中の脳卒中片麻痺患者とする。 選定条件としては①中等度～重度の高次機能障害を有していない②計測・分析上影響のある整形外科的疾患を有していない③計測の動作を理解でき遂行できる症例としている。
意義・目的 移乗動作は歩行の自立していない脳卒中片麻痺患者にとって立ち上がりなどと違い身体を回旋するの必要があり、脳卒中片麻痺患者ではステップ動作の際に転倒の危険性が高い動作の 1 つである。 そこで、手すりを使用した上での 90° 方向転換時のステップ動作が移乗動作の自立度に関連しているのかということと、その際使用する手すりの高さの違いによる動作の力学的変化を知ること、脳卒中片麻痺患者に対する最適な環境を提供できる出がかりの 1 つとなることが本研究の目的である。
方法 三次元動作解析装置・床反力計を使用する。対象者の身体に反射マーカ（11カ所）を添付し、非麻痺側上肢で手すりを把持した立位姿勢から麻痺側方向へ 90° の方向転換を行う。動作方法は麻痺側下肢のステップを行った後、非麻痺側下肢のステップを行う。 計測は 1 回の練習と、2 回の計測の計 3 回実施する。計測時間は業務終了後の 17:15 から 30 分程度である。 また、身体的評価として FMA(Fugl-Meyer Assessment)の下肢機能とバランス項目、FIM の移乗項目も合わせて実施する。
本研究の問い合わせ窓口 誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士 高倉 洋 〒816-0956 福岡県大野城市南大和 2 丁目 7-2 TEL 092-595-1151 FAX 092-595-1199 E-mail kenkyu@seiai-riha.com